

宮城野区選出

ふれあい通信 春号

仙台市議会議員 松本由男 市政報告

信条は、公正・誠実・勇気です！

○発行人／松本 由男(仙台市宮城野区)

〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹1丁目6-1

Tel.022-355-8644 Fax.022-355-8645

URL www.matsumoto-yoshio.com E-mail yoshio@matsumoto-yoshio.com



ご挨拶

謹啓 皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察します。

昨年猛暑の初の選挙以来、約半年が経過し、お蔭さまで議会活動・視察が主ですが、東奔西走、充実した日々を過ごしております。

皆様への直接のご報告がかないませんので、本市政報告となりましたことをお許しください。

今後も、市民派議員として職務に精励する所存ですので、引き続きのお力添えをお願い申し上げます。

時節柄、お身体ご自愛ください。

謹白

仙台市議会定例会の一般的な流れ

◆ 松本 由男の所属する委員会

定例会
(年4回)

市議会には、定例会と臨時会があります。定例会は通常、年4回開かれます。

臨時会は必要に応じて開かれますが、定数の4分の1以上の議員から請求があったときは、市長は臨時会を開かなければなりません。

- 第1回定例会 2～3月
 - 第2回定例会 6月
 - 第3回定例会 9月
 - 第4回定例会 12月
- (月は通常の例です)



本会議

議会運営委員会

本会議は、議員全員で構成され、市議会の意思を決定するほか、市政全般について質問を行います。

- 総務財政委員会
- ◆ 市民教育委員会
- 健康福祉委員会
- 経済環境委員会
- 都市整備建設委員会

予算・決算等特別委員会

予算・決算の議案審査の際に設置され、一問一答方式によって詳しく予算・決算について審査の上、委員会としての賛成・反対を決定します。

本会議

各委員会からの報告、総括質疑の後、本会議場において採決します。

議会の運営、会議規則、議長の諮問に関する事項等について協議、調査を行います。



防災・減災推進調査特別委員会

東日本大震災の記憶を風化させない取り組みと仙台市地域防災計画に基づき、市民が参加する地域の防災・減災力の強化に向けた取り組みを推進していくことを目的とします。

仙台市議会議員

活動報告

本職の強みとする「総合的な危機管理」の視点及び市民目線の施策提案型により、市長、副市長及び各局長に質問をし、一定の前向きな答弁を得ました。

議会での一般質問等 【第3(9・10月)定例会】・【第4(12月)定例会】における一般質問及び答弁



仙台市議会 一般質問に登壇

Q.1 被災自治体の選挙の再統一のため、市議会のみではなく、首長としても被災自治体の首長に、何らかの発信をすべきではないか？

A (市長) 被災地の自治体の選挙の再統一は、新たな法的措置が必要となるが、有権者の利便性や投票率の向上に加え、事務員の負担の軽減からメリットが多く、望ましいと考える。今後、県議会や関係自治体の議会の意思を尊重しながら、引き続き動向を見守る。

Q.2 市議選と県議選を統一した場合と分離した場合の経費差と、選挙の再統一について、どのように考えるか？

A (選管事務局長) 市議選と県議選を同時選とした場合と、分離した場合の経費について、平成19年の統一選挙の合計は、約4億6千100万円で、平成27年8月の市議選、10月の県議選の合計は約5億4千万円であり、同時に執行した場合は、約7千900万円の経費減となる試算です。

(選管事務局長) 東日本大震災で分離した被災自治体の選挙の再統一については、投票率の向上や事務経費の削減等が見込まれ、望ましいと考えている。しかし、そのためには、特例法の制定又は法改正など何らかの法的措置が必要となる。いずれの方法であっても、議員の任期の延長あるいは短縮という問題が絡んでくる事案となるため、選挙管理委員会が関わることは適切ではないと認識している。

Q.3 選挙管理の抜本的改革(経費削減、職員への負担軽減などのため翌日開票等)を提案するがいかがか？

A (市長) 具体的提案の、「翌日開票」や「投票終了時間の繰り上げ」であるが、首長の統括権限外と認識している。ただし、唯一全庁あげて市の職員が関わる業務でもあり、取り組む姿勢は大変重要なので、意識の醸成のための施策を講じていく。(選管事務局長) 翌日開票については、国政選挙や県政選挙との均衡を考慮すると、本市選挙管理委員会が管理執行する

市長選挙、市議会選挙だけを翌日開票することに、有権者の理解が得られるのかといった課題があると認識する。また投票終了時間の繰り上げについては、低投票率が続いていること、法的に例外的な場合に限定されているため、現時点では慎重な対応が求められる。期日前投票の浸透の程度や、午後6時以降の投票率の推移等について、今後も引き続き状況の把握に努める。

Q.4 市長、副市長による現場視察の現状と考え方はどのようにになっているのか？

A (副市長) 施政の運営にあたり、現場の情報が的確に報告される風通しの良い組織の構築に努めている。また、市民の声を直接伺うこと、肌で感じることは大変重要と認識している。今後とも、市の重点政策との関連度、重要性など総合的に判断しながら、現場視察の結果を市政に十分に反映できるように工夫し仕事をしていく。

Q.5 先般、近隣の被災自治体への派遣職員の視察激励をしたが、今後、被災自治体との連携はどのように考えているか？

A (復興事業局長) 職員の派遣にとどまらず、被災市町に直接出向き、意見交換や事業の進捗に応じた技術的アドバイス等を行っていくほか、本市外で被災し市内の仮設住宅に住んでいる方の支援に関する情報共有や出身市町主催の復興状況の説明会のサポート等、継続して実施し、県内全体の復興の加速に向け、ともに邁進したい。

Q.6 業務継続計画(BCP*)の具体的取り組み事業の進捗はどうになっているのか？

A (危機管理監) 3カ年以内に取り組む短期的なものと、それ以外の長期的なものがあるが、計画策定当初約70項目あったものが、残り約40項目となっている。なお、ご指摘の徒步等による登庁訓練については、実施に向け検討を進めている。また、対策本部施設等の代替予備施設の確保については、長期的な取り組みで対応したい。

Q.7 業務継続計画(BCP)における「避難所運営の設置」において、避難所担当職員が担当することになっているが、地域防災計画では「地域団体、避難者、市の担当職員、施設管理者が協働して設置」となっており、整合性がとれていないのではないか？

A (危機管理監) 指摘のとおり整合していない。地域団体等協働で実施することになっており、地域防災計画の文言に整合させるように修正する。

Q.8 業務継続計画(BCP)の実効性を高めるため、職員の意識の維持・向上のための方策はあるのか？

A (危機管理監) 全庁に業務継続計画の内容と災害時の職員

の心構え等について周知を図っている。今後も、様々な手法により、職員の危機意識の醸成や庁内への計画の浸透を図り、本市の対応行動がより一層迅速、的確なものとなるよう取り組んでいく。

Q.9 市長直属の「監察監(仮称)」組織の新設により、市役所の自浄機能及びモチベーションを高めたらいかがか?

A 〈総務局長〉監査事務局、会計室において業務改善への取り組みを進めるとともに、誰もが意見を言い合える活力ある職場づくりを目指して、全庁的なコンプライアンス意識の浸透に努めている。さらに、藤本副市長をトップとした「仙台市コンプライアンス推進委員会」にて外部有識者の意見も取り入れながら、職員の意識向上と組織風土の改革に全庁あげて取り組んでいる。今後も議員提言の趣旨に沿って、組織に内在する課題を検証しながら、提案の監察組織の必要性を含めた、市役所の業務運営体制について検討を重ねていく。

Q.10 町内会等の活性化のための行政側のスタンス及び具体的な取り組みの具体策は?

A 〈市民局長〉町内会は、少子高齢化や核家族化の進展等により地域の状況が多様化する中、安心して安全に暮らすことができる地域づくりを協働で進めていくための大変重要なパートナーであると考えている。育成奨励金等の各種助成や区民協働まちづくり事業等を総称して、町内会等活動への支援という表現をしてきているが、自主的かつ任意的に組織された団体であると町内会の自主性を尊重しながら、ともに協働してまちづくりに取り組んでいくものと認識しており、今後、各場面において、本市の考え方方が適切に伝わるよう工夫していく。町内会等実態調査においては、町内会等の担い手不足が深刻な課題であることが明らかとなり、担い手の育成や定着のために、地域内のほかの団体との連携を深めてもらうことが重要であると再認識した。このような観点から、今年度から

※BCP【Business Continuity Plan】事業継続計画とは、大災害や大事故、疫病の流行、犯罪被害、社会的混乱など、通常業務の遂行が困難になる事態が発生した際に、事業の継続や復旧を速やかに遂行するために策定される計画。



新規事業として、町内会をはじめとした地域団体が協働、連携して地域課題の解決に取り組むモデル事業を市民センターで実施している。今後とも、町内会等の自主性を尊重しながら、協働のパートナーとして、ともに仙台のまちづくりを進めていく。

Q.11 仙台市教育委員会の障害者法定雇用率が、一度も達成できていない理由と、今後の取り組みはどのようにになっているのか?

A 〈教育長〉教育委員会における職員構成は、学校現場における教員が多数を占めており、教育免許が必要な教員について、障害者雇用の拡大が難しい状況にあることが、法定雇用率を達成できない主な理由である。障害のある方がその能力や適性に応じ、自立した職業生活を送ることができるよう、教育委員会としても積極的に障害者雇用に取り組んでいく必要があると認識している。今後とも、ハローワーク等の関係機関と連携を図りながら、募集回数の拡大を行う等、法定雇用率の達成に向け、取り組みを強化していく。

Q.12 本市における無電柱化の現状・課題と今後の方向性は?

A 〈建設局長〉仙台駅東口、長町地区等を中心に整備し、安全・安心なまちづくりや都市景観の観点で成果を上げてきた。費用の縮減や幅員の狭い道路における導入手法等が課題であるが、整備効果の高い路線の重点化を図り対応する必要があると考えている。

松チャンは全国とびまわっています!

アクティブ市議活道中記

①議会運営委員会

(愛知・岐阜県内3市視察)

「議会改革」は勇気が必要!
仙台市議会は、まだまだや
れることが沢山ある。

当面、アイパッドの導入によ
るペーパレス化、そして障害者
の傍聴環境の整備等。



②市民教育委員会

(金沢市民交流館、石川県立歴史
博物館、石川県教育委員会)



教育とは、ある意味、地味なもの!
ソフトとハード、経費をかけずに小粒
でピリッと辛く! 要は質をいかに高め
られるかである。

③防災・減災推進調査特別委員 会等(石川)ヘリ視察(県内被災地)

防災・減災の考え方の基本は、自助からスタート、次いで共助、どうしても出来ないことを公助で補う補完性の原理、特にこれからは人、物、金は減少し、限界がある。一人ひとりが、想像力を働かせ、一寸した工夫ができることが沢山ある。私は自問する…「今何をすべきか?(何をやってもらえるかではなく)」



松チャンの

自己採点!

政務活動(公約)の進捗状況をお知らせします

安心・魅力あるまちづくり 5つのポイント

① 総合的に危機管理ができるまち

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100(%)

② 出産・保育・教育の充実したまち

③ 子ども・高齢者・障がい者にやさしいまち

④ 雇用が持続するまち

⑤ 潤いのある活き活きしたまち

任期4年間で
100%を
目指します!!

○ 詳細はホームページをご覧ください。

今後の 政務活動(議会) の焦点

- ① 仙台市の「予算編成過程の見える化」による市民も参画したまちづくり
- ② 仙台市の「治山・治水総合対策」の推進のための体制づくり
- ③ 仙台市役所の「情報セキュリティー対策」
- ④ 条例づくり(町内会等の活性化推進)の検討

松チャンの

ほつと HOT ひと息

Q 国会と地方議会のしくみは違うと聞いたけど、それは本当ですか?

A そのとおり、しくみが違います。国会には直接国民は参加できませんが、地方議会においては、住民が直接参加できます。

例えば、総理大臣は、国會議員が選びますが、首長は住民が直接選挙で選びますよね。

国政

→ 国民代表原理

国民は国政に直接関われない。

国民はリコールも法案提出もできない。

市政

→ 自治原理

(憲法では、常に住民が地方自治に参加し、地方政府を監視することが想定されている。)

住民は、行政・議会に対し基本的に議員と同じことができる。住民はリコール、条例制定・改廃ができる。



ご意見・ご感想を
お聞かせください!

松本 よしお

検索



www.matsumoto-yoshio.com

yoshio@matsumoto-yoshio.com

<https://www.facebook.com/matsumotoyoshiofan/>

プロフィール
行政書士／自衛隊出身 松本 よしお

■現在

- 仙台市議会議員(宮城野区選出)1期
- 行政書士
- 放送大学大学院(臨床心理)在学中

■略歴等

昭和32年7月7日

岩手県九戸郡軽米町出身(5男)

昭和51年3月

陸上自衛隊仙台入隊(2等兵)、第一線部隊(レンジャー等)、師団司令部、方面総監部等主な災害派遣:阪神大震災、地下鉄サリン、東日本大震災

平成24年7月7日

36年間勤務し定年退官(中佐)

平成24年8月

行政書士、中高年齢雇用福祉協会(講師)、
国立宮城障害者職業能力開発校(非常勤)、
仙台経済同友会事務局(フィンランド協会)

■資格・免許

- 行政書士、総合危機管理士、防災士、仙台地域防災リーダー、産業カウンセラー、認定心理士、キャリア・コンサルタント、FP技能士、調理師
- 大型特殊免許、けん引免許、小型船舶免許
- テニス公認指導員、銃剣道練士、書道5段など

■趣味・嗜好等

- テニス、書道、温泉めぐり
- 好きな食べ物:マカロニ入りのポテトサラダ
- 大切にしている言葉:「今を最良に生きる」